

補足スライド

『5. 銀行制度と私的所有』の
「要求払預金の特徴」への補足

信用創造

試験範囲外

貨幣供給に関する学説の対立

■ 外生的貨幣供給理論

- 市場の外部から中央銀行が現金を供給するということを重視する立場

■ 内生的貨幣供給理論

- 市場の内部で民間企業の資金需要に基づいて、市中銀行が貸付けるということを通じて預金を創造するということを重視する立場

参考

銀行がカネを借りたら 預金は増える

- 貸し手が銀行に現金を預金すると、預金は増える（当たり前！）。
 - この例では、預金と同じ額だけ、銀行の金庫に現金が増える。

資産	負債
現金準備	預金

銀行がカネを貸しても 預金は増える

- 借り手が銀行からカネを借りてもやっぱり預金は増える。
 - なぜならば
 - 銀行による貸出は預金で行われるから

資産	負債
貸出	預金

現金準備と預金

- 預金者の要求に応じて引きおろすことができなければならない。
- ゆえに
 - 全体をとって考えてみると、現金準備は必要である。
- しかし
 - 預金額と同額の現金準備が必要なわけではない。



信用創造は預金の創造

- 信用創造（Credit CreationまたはMoney Creation）とは、要求払預金の創造のことである。
- ↓ ところで、
 - 要求払預金はすべて通貨として通流することができ、またこの資格で信用貨幣になることができる。
- ↓ 従って、
 - 信用創造とは、要求払預金という信用貨幣の創造である。